

〔11〕 舗装路面のスベリ抵抗測定方法

舗装路面のスベリ抵抗測定方法

この方法は、一般国道においてポータブルテスターを使用し、舗装路面のスベリ抵抗測定を行う場合に、次の要領で行うものとする。

1. 測定器の基準

- ① スベリ抵抗の測定には、英国スタンレー社製のポータブルテスター（Portable Skid Resistance Tester）を用いるのを原則とする。
- ② ゴムスライダーは、英国スタンレー社製を用いるのを原則とし、1.5 mm以上摩損したものは新品と取替えるものとする。
- ③ 路面温度の測定には、表面温度計またはサーミスター温度計（但し、感熱部は円盤型とする）を用いるのを原則とする。

2. 測定要領

(1) 測定

- ① 測定は、路面温度 $20 \pm 10^{\circ}\text{C}$ の範囲内で実施するのを原則とする。
- ② 測定個数は、舗設車線別延長200m毎に1個所以上とする。
- ③ 測定方向は、車両の進行方向について行うものとする。
- ④ 横断的測定位置は、舗設車線の中央とする。
- ⑤ 路面状態は、湿潤時についておこなう。
- ⑥ 路面温度の測定は、スベリ測定の直後、スライダーの接地面で測定するものとする。
- ⑦ 外気温度は、地上より1 m附近で測定する。

(2) スベリ抵抗値の測定方法

- ① 測定前に測定路面上の有害付着物は、必ず取りさらなければならない。
- ② 測定器は、路面に水平に据える。この場合、10%以上の勾配路面は測定不可能であり、除外する。
- ③ スライダーの付いた振り腕の軸を上下させ、スライダーと路面のスベリ長さを附属のスケールの長さに調整する。
- ④ 振子を右側へ水平になるまで持ち上げ、解放する。
- ⑤ スライダーは、路面をこすり、振子が左側に跳ね、指針が目盛板を示した時の値を読み取る。
- ⑥ 測定は、1箇所について10回程度を標準とし、(最初の2～3回は路面のごみ、浮いた材料などの影響があるため除外する。) 路面を完全に散水して、1回毎に必ず水を散布するのを原則とし、全測定値の算術平均をその箇所の R_t 値とする。
- ⑦ R_t を、下記の式にて温度補正を行い、 R_{20} を算出し、全体の算術平均を求め、路面のスベリ抵抗値とする。

$$R_{20} = \frac{100 + t}{120} \cdot R_t$$

R_{20} : 20°C におけるスベリ抵抗値

R_t : 実測時の温度 $t^{\circ}\text{C}$ におけるスベリ抵抗値

t : 実測時の路面温度 ($^{\circ}\text{C}$)